

令和5年度

# 小・中学生フォーラム i n 落合第五小学校



新宿区では、毎年、小・中学生と区長が意見を交換する「小・中学生フォーラム」を開催しています。このフォーラムは、子どもたちの意見を区の施策の参考にするとともに、子ども自身が新宿のまちに関心と愛着を持ち、区政に積極的に参加することを目的とするものです。

11月21日（火）、落合第五小学校（上落合3-1-6、校長：古賀靖真）の6年生30名が、「人権について～どんな人でも暮らしやすいまち～」をテーマに、吉住健一区長と意見交換をしました。

上記のテーマのもと、児童たちはグループごとに子どもやLGBTQ+等の人権、ハラスメントやインターネットによる人権侵害など、難しいテーマであってもしっかりと現状を調べ、東京都等が実施した調査結果や時事問題、過去に起きた事件等を踏まえ、スライドにまとめて発表しました。また、発表の最後には、調べる中で疑問に思ったこと等を区長へ質問していました。

児童たちの発表後、区長からは各グループの質問に対し、過去や現在の区の施策や取組み、区で出来ることと出来ないことについても触れながら、ひとつひとつ丁寧な回答がありました。その中で「インターネットでのいじめは身近なことで、今回そのことについて考えてくれたのはとても貴重なこと」と話がありました。

区長からの回答後も、新たな疑問を持った児童からさらに質問があったりと、児童たちの探求意欲が尽きないとても有意義なフォーラムとなりました。

